

なか がわ
中川

所在地・・・埼玉県久喜市狐塚
 延長・・・640m(面積88,000㎡)
 実施主体・・・埼玉県杉戸県土整備事務所
 問合せ先・・・【住所】埼玉県杉戸町杉戸432
 【TEL】048-034-2381



中川

対象地の概要・・・「良好な水辺環境を活かし自然や親水機能の保全創出を図るとともに、自然観察など人の利活用に配慮した水辺を創出する。」を基本方針とし、人の利活用ゾーンと自然環境(生物の生息環境)保全ゾーンを区分して整備を行った河川である。(中川水辺再生100プラン事業:遊歩道L=985m/ワンド整備工1式/広場整備工A=2,500㎡)

事業への取り組みのきっかけ

埼玉県では、県民誰もが川に愛着を持ち、ふるさとを実感できる「川の国埼玉」の実現を目指して、「川の再生」に取り組んでいる。このうち、平成20年度(2008年度)からの4年間で県内100か所の川の再生を行う「水辺再生100プラン」を推進している。そのうちの一つであり、県民提案の中から選定された。

整備の概要

整備実施期間・・・平成21年～平成23年度(2009年～2011年度)

① 「水辺環境の整備」に向けた整備手法

Step1:ワーキングチームによる計画づくり

地域住民や地元市とのワーキングチームを結成し、中川の整備にかかわる計画づくりを行った。

Step2:設計・工事

「良好な水辺環境を活かし自然や親水機能の保全創出を図るとともに、自然観察など人の利活用に配慮した水辺を創出する。」を基本方針とし、人の利活用ゾーンと自然環境(生物の生息環境)保全ゾーンを区分して整備を行った。

- ・ワンドを整備し、水辺の生き物のすみかとなる環境を創出
- ・自然観察や環境学習などができる水辺広場の整備
- ・現況高茎草地の保全

② 整備時の協働者との関わり ⇒地元自治会、幸手市、旧栗橋町、環境団体

ワーキングチームを形成し、整備内容や完成後の維持管理について意見交換を重ね、計画段階から協力して進めてきた。

③ 整備時の留意点



水辺の生物の住処となるワンド



水辺広場



高茎草地



市民団体による草刈り



市民団体が植えたコスモス

維持管理の概要

④ 「水辺環境の整備」に向けた維持管理内容

調整中である。

⑤ 維持管理時の協働者との関わり ⇒地元自治会、朝霞市、地元活動団体、環境団体

地元市や地域住民との役割分担を決め、それぞれの役割の中で協力して維持管理を行うため、今後維持管理に関する協定を締結する予定である。

県や市は協定に基づき施設の維持修繕や住民活動のサポートを行い、地域住民には水辺のサポーターとして日常の草むしりや花植え等の維持管理を行っている。

⑥ 維持管理時の留意点

—

事業効果

- 今後事後調査を行う予定。

備考

その他